

秦野市 ハザードマップ

— 南地区 —

風水害時の避難場所

自宅の災害リスク

自宅が警戒区域や浸水想定区域(〇m)に入っているかを確認しておきましょう。

私の避難場所

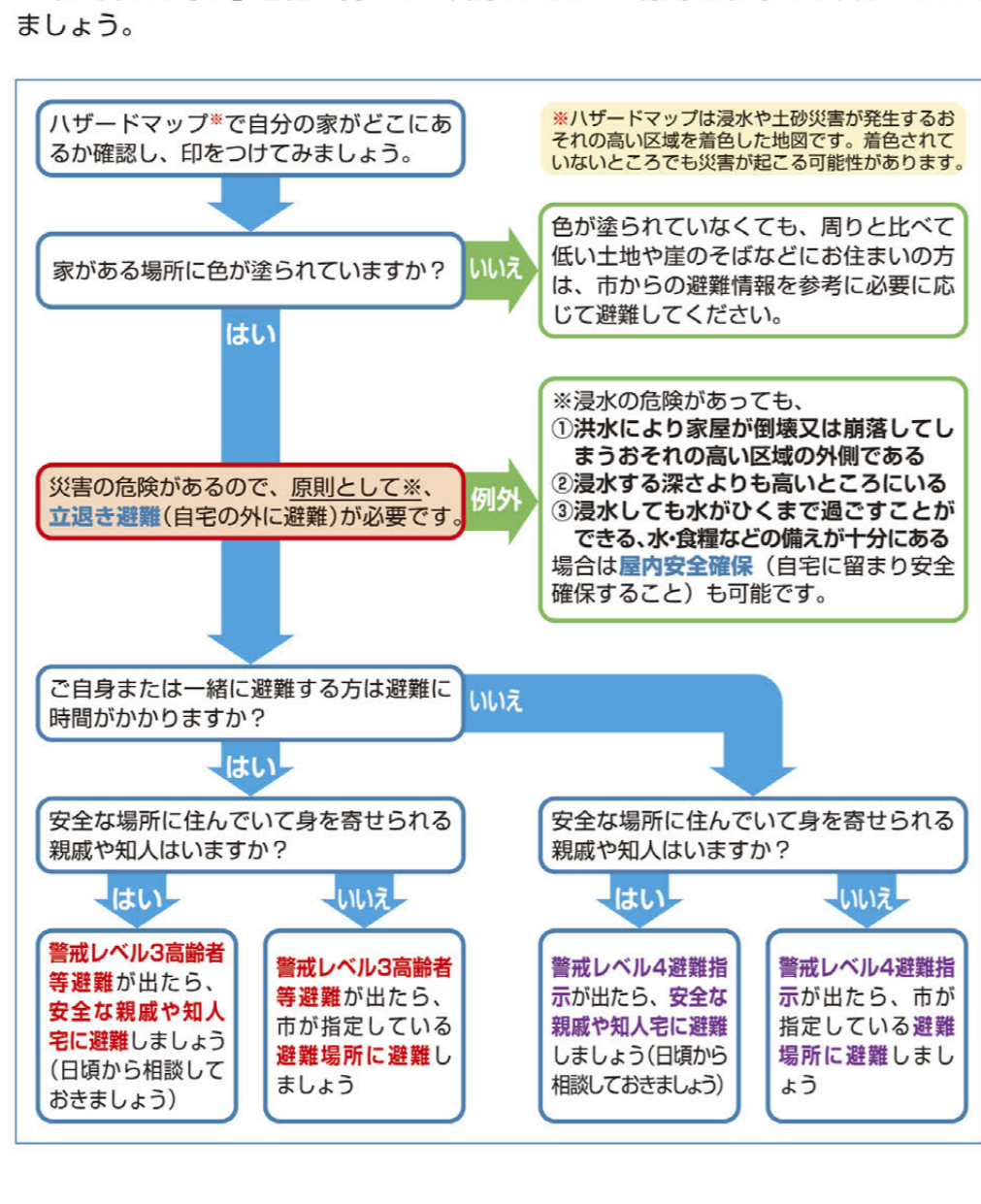
風水害時の避難所は公民館です。

避難方法・自宅からの時間

状況に応じた避難行動

避難行動判定フローチャート

このフローチャートは、はい・いいえで自分がとるべき避難行動を確認することができます。ハザードマップで自宅の災害リスクを確認するとともに、「自らの命は自らが守る」意識を持って、自分のとるべき行動も平時から確認しておきましょう。



防災気象情報の入手方法

秦野市が提供する情報

秦野市では防災行政無線やウェブサイト等を用いて、市民の皆さんに情報を発信しています。災害時には市民の皆さんも積極的に情報を入手し、自身の身を守るために活用してください。

秦野市ホームページ 検索
最新の気象情報や雨量情報、河川ライブカメラなどを確認できます。

秦野市防災行政無線 検索
屋外スピーカーから、市内全域に緊急情報を放送します。雨風が強い場合や屋内にいる場合、建物等の地理条件などによって放送が聞こえづらくなる可能性があります。防災行政無線の緊急メール、テレビホンサービスを確認することができます。電話番号は市ホームページ上で確認できます。

はだのWEBマップ 検索
防災に関する地図情報を皆さんに公開・提供するサイトです。

国や県が提供する情報

国土交通省 川の防災情報 検索
全国の雨量・水位情報、河川情報カメラ画像を確認できます。

気象庁 注意報 検索
気象庁から発表される気象注意報・注意報を確認できます。

キキクル「危険度分布」 検索
大雨や洪水による災害の危険が、どこまでのレベルで迫っているかを地図上で確認できます。

神奈川県 雨量水位情報 検索
神奈川県の雨量、河川の水位・カメラ画像を確認できます。

神奈川県 土砂災害警戒ポータル 検索
県内の土砂災害の危険度などの情報を確認できます。

e-かまマップ 検索
県内の「くらし」、「防災と安全」などの地図情報を確認できます。

ハザードマップの使い方

- 1 マップから自宅を見つける
- 2 避難する場所を確認する
- 3 安全な避難経路を決める
- 4 実際に避難経路を歩いてみる
- 5 家族で災害時の対応を話し合う
- 6 学校や近所で考える



マイ・タイムライン

自分自身の避難行動計画を記入しよう

マイ・タイムラインとは、風水害の発生に備えて「いつ」「何が」「何を」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画のことです。各タイミングにおける自分の行動を記入しましょう。

大雨の発生から避難までの時間	警戒レベル	避難行動	注意事項
大雨の数時間前~2時間程度前	警戒レベル3相当	大雨警報(土砂災害)	高齢者等避難の準備を確認 避難場所を確認
大雨の半日~数時間前	警戒レベル2相当	大雨注意報	避難所・避難ルートの確認 土砂災害等の情報確認
大雨が降り始める	警戒レベル1相当	大雨警報(土砂災害)	避難所・避難ルートの確認 土砂災害等の情報確認
大雨の範囲が数十年に一度の大雨	警戒レベル4相当	大雨特別警報(土砂災害)	避難指示の情報確認 家族全員が避難完了
大雨がさらに激しくなる	警戒レベル5相当	土砂災害発生	命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保 避難指示の情報確認 家族全員が避難完了

警戒レベル

警戒レベル4避難指示で、危険な場所から全員避難してください。

警戒レベル	状況	避難行動等	気象情報等(気象庁が発表)	避難情報等(秦野市が発令)
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	大雨特別警報	緊急安全確保
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	土砂災害警戒情報	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	大雨警報 洪水警報	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**垂直避難や水平避難**などで直ちに身の安全を確保してください。

避難に時間がかかる高齢者や障害のある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

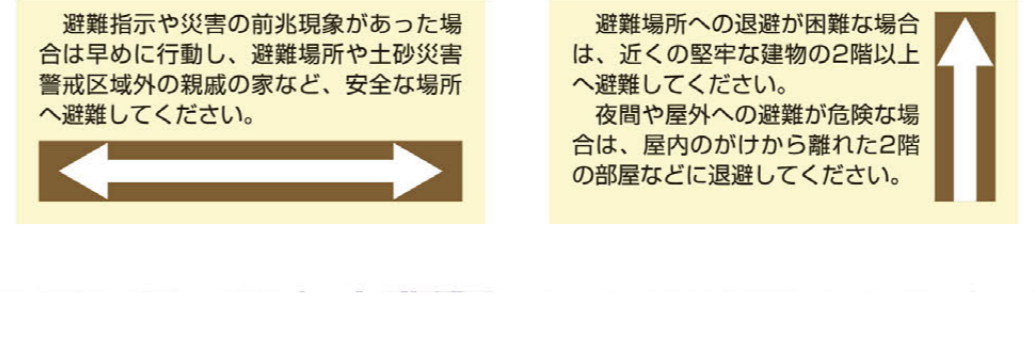
土砂災害から身を守る

土砂災害防止法について 神奈川県は、かけ崩れなどの土砂災害から県民の生命を守るため、土砂災害防止法に基づき、土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域を指定しています。

土砂災害警戒区域 かけ崩れ等が発生した場合、住民等の生命または身体に危険が生ずるおそれがあると思われる土砂の区域であり、危険の通知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域 かけ崩れ等が発生した場合、建築物に損傷が生じ、住民等の生命または身体に危険が生ずるおそれがあると思われる土砂の区域で、一定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害の種類



状況に応じた避難行動

水平避難 避難指示や災害の前兆現象があった場合は早めに行動し、避難場所や土砂災害警戒区域外の親戚の家など、安全な場所へ避難してください。

垂直避難 避難場所への退避が困難な場合は、近くの堅牢な建物の2階以上に避難してください。夜間や風への避難が危険な場合は、屋内の安全な場所(2階の部屋など)に避難してください。

洪水被害から身を守る

想定される洪水 近年、台風や集中豪雨による洪水や、かけ崩れなどの被害が全国各地で発生しています。市街地の進行により、雨水を貯えていた田畑や森林が大幅に減少し、道路の舗装や排水路整備が進み、雨水が一気に河川に流れ込む傾向にあります。また、急な大雨が発生するゲリラ豪雨が近年頻発に起こっています。

外水氾濫 河川から水があふれておこる洪水。大雨などにより川の水位が増え、堤防が壊れ、河川が溢れ出す。排水が滞り、逆流する。排水が滞り、逆流する。

内水氾濫 排水路などから水があふれる浸水。大雨により、排水路が詰まり、逆流する。排水が滞り、逆流する。

雨の降り方と注意報・情報の関係(目安)

発表目安	大雨注意報	大雨警報	土砂災害警戒情報	土砂災害特別警戒情報	
1時間雨量(mm)	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上

浸水した場合に想定される水深	色分け
1.0 m以上の区域	
5.0~1.0 m未満の区域	
3.0~5.0 m未満の区域	
0.5~3.0 m未満の区域	
0.0~0.5 m未満の区域	
1.0 mを超える区域	
0.5~1.0 m以下の区域	
0.2~0.5 m以下の区域	

【浸水の深さの目安】

水深	被害想定
5.0m	2階の軒下以上が浸水する程度
3.0m	2階の軒下まで浸水する程度
1.0m	2階の床面まで浸水する程度
0.5m	1階の床下まで浸水する程度